



本堂・南北朝時代(貞治2年)修営 [重要文化財]

空也の寺

源平両氏を中心史蹟

西国第十七番札所霊場

都七福神の一・巳成金弁財天

# 六波羅蜜寺

京都市東山区五条通大和大路 upper 東

電話(〇七五)五六・六九八〇(代) 振替 〇二〇〇・八五四

<http://www.rokuhana.or.jp>

〈取引銀行〉三井住友銀行四条支店

下京区四条通河原町角  
京都中央信用金庫東五条支店 東山区五条大橋東



### 空也上人立像

鎌倉時代(重要文化財)

運慶の四男康勝の作。胸に金鼓を右手に撞木を、左手に鹿の杖をつき、膝を露わに草鞋をはき、念仏を称えるくちから六体の阿弥陀が現れたという伝承のままに洗練された写実的彫刻である。



ひとたびも

南無阿弥陀仏と

いふ人の

はらすの上に

のぼらぬはなし

空也 (拾遺抄)

### 地藏菩薩坐像

鎌倉時代(重要文化財)

運慶の作。一族の菩提寺十輪院の本尊。一名「夢見地藏」といわれ眉目秀麗な面相や変化のある法衣のひだのまどめ方は美にすぐれている。



### 平清盛坐像

鎌倉時代(重要文化財)

経巻を手にしたその風姿は平家物語に描かれている清盛の傲慢さは全くなく、仏者としての気品を覚える。一門の武運長久を祈願し、朱の中へ血を点じて写経した頃の太政大臣浄海入道清盛公の像である。



### 運慶・湛慶坐像

鎌倉時代(重要文化財)

わが国の彫刻界の黄金期をさすいた運慶・湛慶(運慶の長男)の父子の像。当寺十輪院は運慶一族の菩提寺であったことから、本尊の脇侍のように祀られていた。

### 運慶坐像



### 湛慶坐像



### 地藏菩薩立像

平安時代(重要文化財)

巨匠定朝の作。元六波羅地藏堂の本尊で、面相も優し彩色に切金を混用し、左手に頭髪を持った珍しい仏像で「鬘掛地藏」といわれている。





## 六波羅蜜寺の歴史

六波羅蜜寺は、天曆五年（九五）醍醐天皇第二皇子光勝空也上人により開創された西国第十七番の札所である。

当時京都に流行した悪疫退散のため、上人自ら十一面観音像を刻み、御仏を車に安置して市中を曳き廻り、青竹を八葉の蓮片の如く割り茶を立て、中へ小梅干と結昆布を入れ仏前に献じた茶を病者に授け、歓喜踊躍（かんきゆやく）しつつ念仏を唱えてついに病魔を鎮められたという。

（現在も皇服茶として伝わり、正月三日間授与している。）

現存する空也上人の祈願文によると、応和三年八月（九六三）諸方の名僧六百名を請じ、金字大般若経を浄写、転読し、夜には五大文字を灯じ大萬燈会を行なつて諸堂の落慶供養を盛大に営んだ。これが当寺の起りである。

上人没後、高弟の中信上人によりその規模増大し、莊嚴華麗な天台別院として栄えた。

平安後期、平忠盛が当寺内の塔頭に軍勢を止めてより、清盛・重盛に至り広大な境内には

権勢を誇る平家一門の邸館が栄え、その数五千二百余に及んだ。寿永二年（一一八三）平家没落の時兵火を受け、諸堂は類焼し、独り本堂のみ焼失を免れた。

源平両氏の興亡、北条・足利と続く時代の兵火の中心ともなった当寺はその変遷も甚しいが、源頼朝、足利義詮による再興修復をはじめ火災に遭うたびに修復され、豊臣秀吉もまた大仏建立の際、本堂を補修し現在の向拝を附設、寺領七十石を安堵した。徳川代々將軍も朱印を加えられた。

現本堂は、貞治二年（一三六三）の修営であり、明治以降荒廃していたが、昭和四十四年（一九六九）開創一、〇〇〇年を記念して解体修理が行なわれ、丹の色も鮮やかに絢爛と当寺の姿をしのべている。

なお、解体修理の際、創建当時のものと思われる梵字、三鈷、独鈷模様の瓦を始め、今昔物語、山槐記等に記載されている泥塔八千基が出土した。

重要文化財の質、量において文字どおり平安、鎌倉期の宝庫と謂われる所以である。



本堂内陣と厨子

# 空也上人

第六十代醍醐天皇の皇子で、若

くして五畿七道を巡り苦修練行、尾張国分寺で出家し、空也と称す。再び諸国を遍歴し、名山を訪ね、練行を重ねると共に一切経をひもとぎ、教義の奥義を極める。天曆二年(九四八)叡山座主延昌より大乘戒を授かり光勝の法号を受けた。森羅万象に生命を感じ、ただ南無阿弥陀仏を称え、今日あることを喜び、歓喜踊躍しつつ念仏を唱えた。上人はつねに市民の中にあって伝道に励んだので、人々は親しみをこめて「市の聖」(いちのひじり)と呼び慣わした。

上人が鞍馬山に閑居後、常々心の友としてその鳴声を愛した鹿を、定盛なる獵師が射殺したと知り、大へん悲しんでその皮と角を請い受け、皮を裘(かわごろも)とし、角を杖頭につけて生涯わが身から離されなかつたという。定盛も自らの殺生を悔いて上人の弟子となり、瓢をたたき、法曲を唱し、寒い夜もいとわず京中を巡行して衆生の能化につとめた。

定盛は上人の遺風を伝えて茶筌を作り、これを世に広め、子孫は有髪の姿に黒衣をまとって踊り、念仏しながら瓢をたたいて市中を徘徊した。

これが今六斎念仏として伝わっている。当山の空也踊躍念仏は、さらにその源流である。

## 空也踊躍念仏 (重要無形民俗文化財)

当山開祖空也上人は壹千有餘年前お念仏をお始めになられ、現在では「念仏の祖」と言われている。

鎌倉時代にお念仏は弾圧を受けた時期があった。

しかし、「念仏の祖」である空也上人が開かれた当山ではその法灯を絶やすことは出来ない。

そのようなことから薄暮勤行として、夕暮れ迫る頃に本堂の内陣において密かにお念仏を修し、その次第は無く歴代の住職の口伝により現在まで伝えられた。

このお念仏は「南無阿弥陀仏」という外部に聞かれて分かる言葉は唱えず「モーダンマイトー」「ノーボーオミトー」というように外部に聞かれても分りにくく唱え、通常の勤行の中に組み込まれ、いつでも止めることが出来るようになってくる。これは、当時の弾圧から逃れる為の名残りとしてされている。しかし、その動作・所作は空

也上人の当時のままを守り続けている。

このお念仏は「罪業消滅」、つまり一年間私たちが人として世に生かされている中で知らず知らずに犯した罪業の消滅と、新しい年が良き年である事を祈るお念仏であり、御参拝者とともに修する一年を締めくくる修行である。

## 六波羅弁財天

七福神の中で唯一の女神である弁天様は、水を神格化した神で、神話によると、学問と技芸の神、雄弁と正しいすばらしい智慧の保護神として高く位置づけられていた。

さらに仏教では、人々に財宝を与え、障碍を取り除くと云う御誓願を加えられている。現世に生かされている全ての人々は、愛別離苦(愛するものとも何時かは、別れなければならぬ)、怨憎会苦(いやな事にも逢わなければならぬ)等の苦があるが、弁天さまにお祈りする事によって、あたかも清き水が全ての汚れを清める如くときはなされる。六波羅探題を開いた歴代將軍は、当寺を祈願所と定め爾来、今日に至るも参拝者の香煙が絶えない。

珈琲職人の珈琲は、きつとクセになります。



小川珈琲株式会社

☎ 0120-077-800 (平日9:00~17:00)  
本社/〒615-0802 京都市右京区西京極北庄境町75番地

※弊社製品はホームページよりご注文いただけます。 [www.oc-ogawa.co.jp](http://www.oc-ogawa.co.jp)

呉 株

岡 志 田

京・室町御池下る  
電(075)231-3684

<http://www.gofuku-nishida.co.jp>



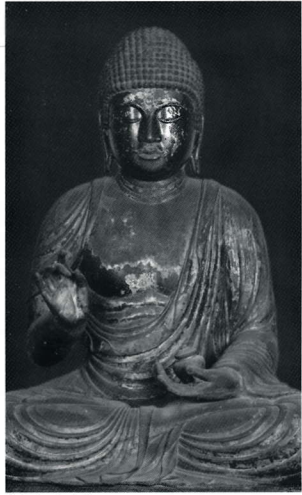
木像（重要文化財）一覽

たび重なる兵火をのがれ、当寺には平安・鎌倉期の木像彫刻を代表する名宝が数多く安置されている。

- 十二面観音立像 平安時代（国 宝）
- 薬師如来坐像 平安時代（重要文化財）
- 地藏菩薩立像 平安時代（重要文化財）
- 多聞天立像 平安時代（重要文化財）
- 広目天立像 平安時代（重要文化財）
- 持国天立像 平安時代（重要文化財）
- 増長天立像 鎌倉時代（重要文化財）
- 地藏菩薩坐像 鎌倉時代（重要文化財）
- 吉祥天立像 鎌倉時代（重要文化財）
- 閻魔大王像 鎌倉時代（重要文化財）
- 弘法大師坐像 鎌倉時代（重要文化財）
- 空也上人立像 鎌倉時代（重要文化財）
- 平清盛坐像 鎌倉時代（重要文化財）
- 運慶坐像 鎌倉時代（重要文化財）
- 湛慶坐像 鎌倉時代（重要文化財）

重要有形民俗文化財

- 泥塔
  - 皇服茶碗
  - 版木
  - 萬燈会関係用具
- 等二千百余点



薬師如来座像



多聞天立像



増長天立像



持国天立像



広目天立像

①7 おいしく、やさしく。

京つけもの  
西 利  
京都・西本願寺前  
京都・四条祇園町

本店/京都・西本願寺前  
電話・(075)361-8181 FAX・(075)361-8801  
http://www.nishiri.co.jp E-mail nishiri@nishiri.co.jp

確実にやるのはどこでもできる。  
確実に速くやるからこそ「価値」になる。

三井住友銀行

LEAD THE VALUE  
三井住友フィナンシャルグループ  
SMFG





節分会



六斎念仏追儺式



皇服茶授与



福德自在初稲穂授与

六波羅蜜寺の年中行事

正月

初詣 皇服茶授与  
開運厄除祈願  
福德自在初稲穂授与

一月十七日

二月

初観音  
節分会開運厄除祈願  
星まつり

三月

彼岸会・法話会・写経会

八月八・九・十日

萬燈会厳修

本堂内で灯芯による大文字を  
点じ、五大本不生の祈願が  
空也上人以来の伝統行事として  
修せられ、火の要心の護符が  
授けられます。

なお、萬燈会によつて迎えられ  
た精霊は、十六日の大文字の  
送り火によつて送られます。

九月

彼岸会・法話会・写経会

九月十二日

開山忌

十月三日

弁財天已成金特別祈願会

十月二十三日

皇服茶奉納式

十二月十三日

空也踊躍念仏厳修

(除夜)

毎月一日・十六日

お聖天さま御縁日

毎月七日

都七福神の一  
已成金弁財天御縁日

毎月十七日

お観音さま御縁日  
災難除・病魔除御加持

毎月二十四日

印仏供養会



空也踊躍念仏



弁財天特別祈願会



萬燈会



携帯電話で六波羅蜜寺の情報がご覧になれます。



みなさまのすぐとなり京都中央信用金庫がいます。

京都中央信用金庫

本店/京都市下京区四条通烏丸西入ル  
☎ 075 (223) 2525  
FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)  
www.chushin.co.jp

地球のココロおどらせよう。

世界のゲーム、モバイルをもっと楽しく、豊かに!  
私たちはエンターテインメントの未来を創造する  
受託開発の専門企業です。



株式会社トセ

〒600-8091 京都市下京区東洞院通四条下ル TEL.075-342-2525

http://www.tose.co.jp/ (証券コード4728、東証・大証一部上場)